

知識をアップデート! HIVについて

HIV/エイズとは

- HIVとは、ヒト免疫不全ウイルス(Human Immunodeficiency Virus)の略で、エイズを引き起こすウイルスのことです。
- エイズ(AIDS)とは、後天性免疫不全症候群(Acquired Immunodeficiency Syndrome)のことで、HIVの感染後、免疫力の低下によって引き起こるさまざまな病気を発症した状態のことです。
- HIVに感染すると、風邪に似た症状がでることもありますが気づきにくいです。その後、治療をしないと数年～十数年かけて自覚症状がないまま進行していきます。

HIV感染の感染ルート

感染のおそれがある行為は、HIVを含む血液や精液、膣分泌液が直接粘膜や傷口に接触することです。「性行為」や「血液感染」「母子感染」が原因として挙げられますが、**ほとんどが「性行為」による感染が原因**となっています。

～これらの行為ではうつりません～

ハグや軽いキス 握手
せきやくしゃみ
お風呂、プール 電車のつり革
蚊に刺される トイレの便座
同じ皿の料理を食べる
同じ飲み物をまわし飲みする



HIV/エイズ治療のいま

～U=U(ユー イコール ユー)について～

- 現在、HIVに感染すると体内から完全にウイルスを除去することはできませんが、治療方法は進歩しており、**抗HIV薬を飲み続けることで、血液中のウイルス量を検査で検出できないほど少なく抑えることができる、検出限界未満という状態になります。**通常は、飲み始めてから1～6カ月で検出限界未満になります。服薬を続けることで、今までとほとんど変わらない生活を送ることができます。
- 検出限界未満を最低6カ月以上持続できていれば、セックスによって相手にHIVを感染させるリスクはゼロとなります。**このような状態をU=Uといい、コンドームなどの予防なしのセックスにおいてもHIVは感染しません。
- “U=U”はUndetectable(検出限界未満) = Untransmittable(感染しない)をわかりやすく伝えるメッセージです。**

心配なら検査を受けよう!



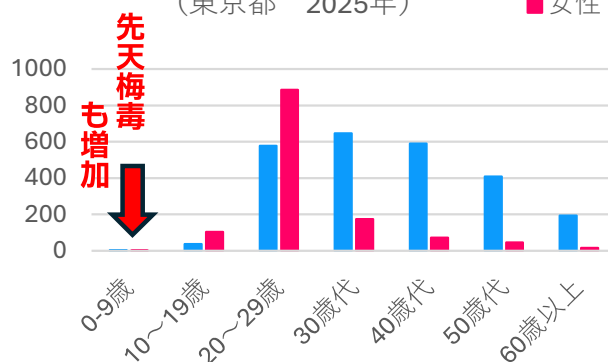
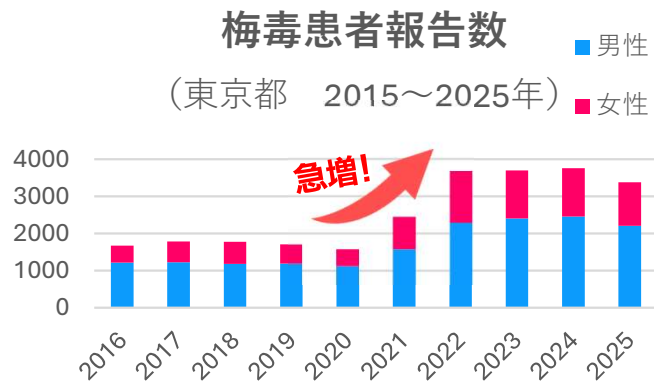
今、増えている感染症…梅毒について

特に
20代女性と
20～50代の男性
で増えています!

梅毒増加中!!

都内の梅毒患者報告数は、2020年以降毎年増加しており、2022年以降は毎年3300件を上回る報告があります。今年も同様の状況が続いています。

男女別・年齢別梅毒患者報告数 (東京都 2025年)



キスや口腔性交(オーラルセックス)でも感染する!

- 梅毒はキスや口腔性交(オーラルセックス)でも感染します。感染予防のためには、口腔性交のみ実施する場合でもコンドームを正しく使用することが必要です。
- 過去に感染したことがある方でも、免疫はできないため何度でも感染します。
- 妊娠中の女性が感染すると、胎盤を通じておなかの赤ちゃんに感染し、死産や早産、先天性の障害(先天梅毒)が起こることがあります。先天梅毒も増加しています。

感染しても症状がなかったり、痛みやかゆみがなかったりする!

梅毒に感染しても何も症状が出なかったり、皮膚に症状が出ても痛みやかゆみはなかったりすることがあります。また、治療しなくても症状は自然に消えたり現れたりを繰り返すことがあります。しかし、治療しなければ病状は進行します。

検査はいつ受ければよい?治療はどうなるの?

検査は感染の機会から4週間以上経過してから受ける必要があります。治療は抗菌薬が有効です。薬の内服だけでなく、注射での治療もできるようになっています。